

香川大学生のための

海外留学・研修 ハンドブック

2026-2027

STUDY ABROAD



香川大学インターナショナルオフィス

<https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>



KAGAWA
UNIVERSITY

はじめに

このハンドブックでは、香川大学でどのような海外留学ができるのか、留学を実現させるためにはどのような手続きが必要なのか、どのような留学をいつ経験するのが効果的なのかなど、在学中の海外留学を検討するときに必要な情報を簡単にまとめてあります。

「海外には関心があるけど留学は考えていない」と言う人、「留学にはお金がかかるから無理だろう」と考えている人もいるでしょう。そんな人もぜひ、このハンドブックを開いてみてください。大学を通して応募できる奨学金の情報も掲載してあります。

香川大学の学生の皆さんには、グローバル感覚をもって、目の前のローカルな課題解決に取り組み、リーダーシップを発揮する人となることが期待されます。地域の様々な課題解決のための取り組みを、世界で共通する課題解決の取り組みとして発信することも求められていくことでしょう。そのためにはコミュニケーション能力や専門知識などのスキルとともに、世界や環境、人間の多様性についての深い認識が必要となります。

留学は、世界や社会についての視野を広げると同時に、自分自身についてより深く知る機会となっており、価値観や感性に変化をもたらしてくれます。そのことはきっとみなさんの人生の選択肢を大きく広げてくれるでしょう。ぜひチャレンジしてみてください。

なお、このハンドブックで紹介している留学プログラムや各種情報はほんの一部です。香川大学の留学プログラムについての最新の詳しい情報は、インターナショナルオフィスや所属学部で入手するようにしてください。

香川大学の海外留学相談窓口

香川大学インターナショナルオフィス

[場所] 幸町南キャンパス2号館1階 国際課

[連絡先] globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp

IQWeb (留学相談)



Contents

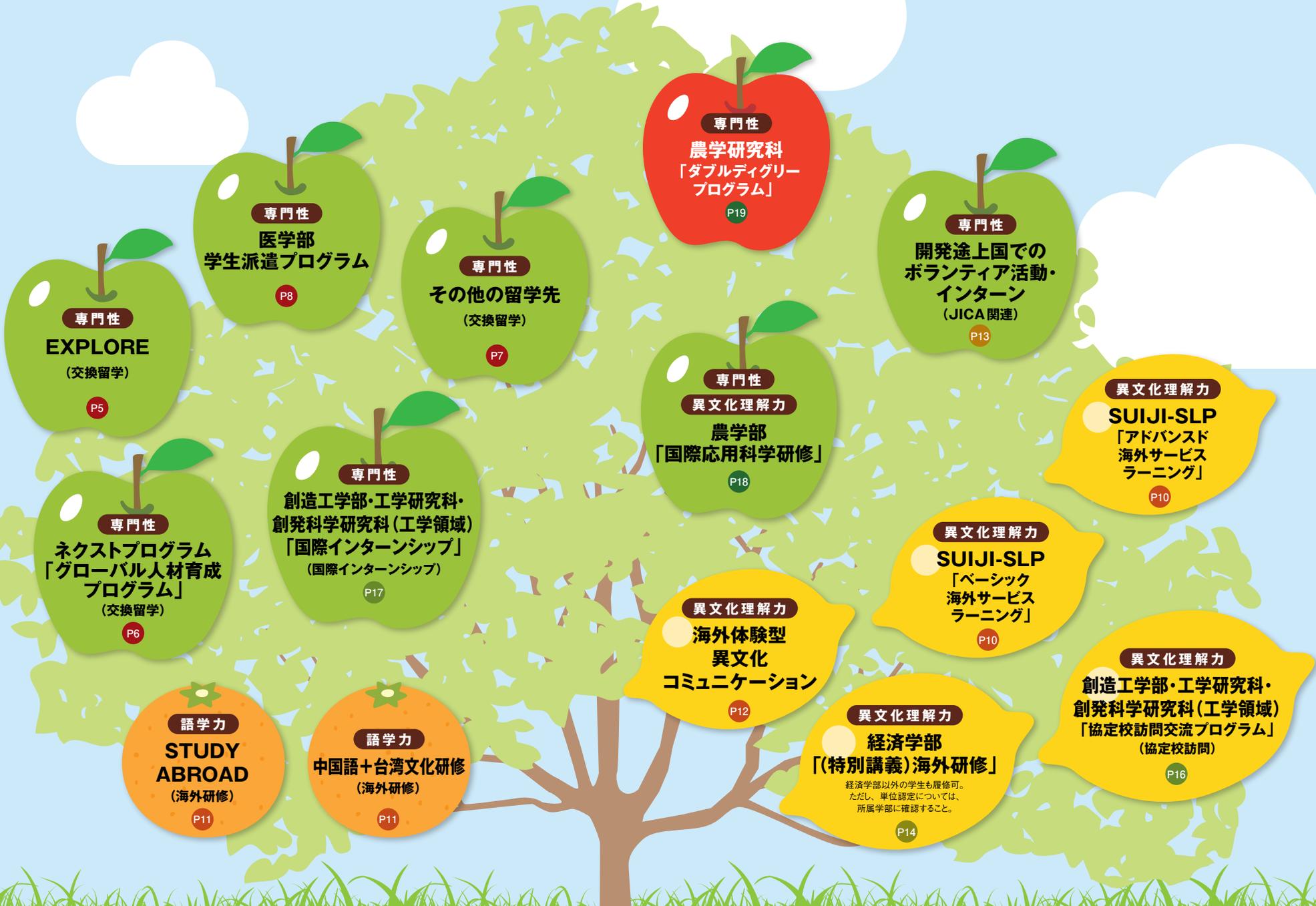
● 香川大学 STUDY ABROAD TREE	P2
● 交換留学(交換留学とは?)	P4
● 交換留学(EXPLORE)	P5
● 交換留学(ネクストプログラム「グローバル人材育成プログラム」)	P6
● 交換留学(その他の留学先)	P7
● 医学部「学生派遣プログラム」	P8
● SUIJI-SLP「海外サービスラーニング」	P10
● 全学短期海外研修	P11
● 海外体験型異文化コミュニケーション	P12
● 開発途上国でのボランティア活動・インターン(JICA 関連)	P13
● 経済学部「(特別講義)海外研修」	P14
● 創造工学部「協定校訪問交流プログラム」	P16
● 創造工学部「国際インターンシップ」	P17
● 農学部「国際応用科学研修I・II」	P18
● 農学研究科「ダブルディグリープログラム」	P19
● 留学経験者の声	P20
● 海外渡航学生のための危機・安全管理	P24
● 海外留学のための奨学金	P26
● キャンパスのなかでの国際交流活動	P30
● 海外留学情報リンク集	P31
● 香川大学との学術交流協定校一覧	P32

香川大学 STUDY ABROAD TREE

上級

難易度

初級





交換留学ってどんなもの

香川大学の正規課程の学生が、本学に在学・在籍したまま、学術交流協定を締結している海外の大学において学びます。1年を限度として1学期または複数学期の間、科目履修または研究指導などの教育の機会を得る留学を指します。

交換留学の特徴

- ★香川大学へ授業料を納めていれば、留学先の授業料は必要ありません(例外もありますので、詳しくは、インターナショナルオフィスへお問い合わせください)。
- ★留学先で取得した単位は、所定の手続きを経て香川大学の単位として認定されます(例外もありますので、詳しくは、インターナショナルオフィスへお問い合わせください)。
- ★留学先の大学で、現地の学生とともに正規の授業を受けることができます(ただし、一定の語学力が必要です)。

交換留学の手続きの流れ

交換留学には通常、留学開始の1年、または1年半前からの準備が必要です。留学を思い立てから留学開始までの流れについては以下を参考にし、早めに準備を始めましょう。また、留学期間の長短を問わず、TOEIC、TOEFL、IELTSなど国際的に通用する英語能力テストを各自で受検し、スコアアップに努めることが重要です。



問合せ インターナショナルオフィス 087-832-1148 / globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp

EXPLOREとは？

EXPLOREは、本学の学術交流協定校であるブルネイ・ダルサラーム大学(ブルネイ・ダルサラーム国)、チェンマイ大学(タイ王国)およびプトラ・マレーシア大学(マレーシア)における交換留学です。本制度による留学を通して、専門知識と技能、語学力を高め、国際化する地域の諸課題を解決する能力を養うことを目的としています。

本制度で派遣される学生は留学先の大学において、英語で開講される科目を語学力や専攻分野に応じて選択します。授業料は相互不徴収(香川大学へのみ納入)です。

香川大学の所属学部における審査を経て、留学先で取得した単位を本学の単位として認定することが可能です。

【応募資格】

- 1 香川大学の正規課程の在籍学生で、かつ、留学開始時に学部2年次以上の者。
 - 2 留学先での学修および生活に足る外国語能力を有する者(TOEIC600～、TOEFL500 (TOEFL iBT 61)～、IELTS5.0～を目安とする。英語条件は渡航先大学により異なるため、詳細については募集要項を参照)。
 - 3 学業成績が優秀である者(GPA2.5以上を目安とする)。
 - 4 留学先の学則等に従って行動できる者。
- ※次年度以降変更される場合があります。

【募集人数・留学期間】

ブルネイ・ダルサラーム大学……………5名以内
(第1 Semester) 8月～翌年1月

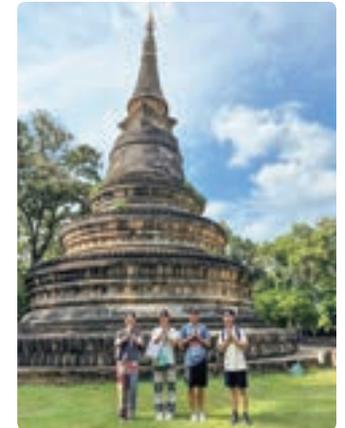
チェンマイ大学……………4名以内
(第2 Semester) 11月～翌年3月

プトラ・マレーシア大学……………3名以内
(第1 Semester) 10月～翌年2月

【応募時期】

毎年度12月中旬応募締切の予定です。
各年度の応募時期や締切については、
秋(11月頃)にお知らせします。

問合せ インターナショナルオフィス 087-832-1148 / globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp





交換留学

ネクストプログラム 「グローバル人材育成プログラム」



交換留学

その他の留学先

グローバル人材育成プログラムとは？

香川大学ネクストプログラムの一つで、グローバル化の進む地域社会の課題解決に貢献できる人材、国際的に通用する語学力と専門知識や技能をもつ人材の育成を目指し、語学力の向上と在学中の海外留学(原則として1年間)の実現をサポートするプログラムです。英語圏(アメリカなど)の大学への留学を目指す英語コースと中国語圏(中国、台湾)の大学への留学を目指す中国語コース、韓国の大学への留学を目指す韓国語コースがあります。

ネクストプログラムのために開設された特別授業と自宅学習により、1年半～2年間の語学集中訓練を積みます。その後、語学検定試験(IELTS、HSK、TOPIK)で基準以上のスコアを取得すると、ネクストプログラムの留学対象者となります。

グローバル人材育成プログラムの特徴

- ★ 留学にむけて語学力向上を目指したプログラム関連授業科目
- ★ ネイティブスピーカーとの対話レッスン(オンライン等)

授業プラス自律学習によりIELTS、HSK、TOPIKの基準スコア突破を目指します。

※ IELTSは英語圏の国々に留学するための英語力を測定する英語検定試験です。

※ HSKは中国政府公認の中国語検定試験です。

※ TOPIKは韓国政府主催の韓国語検定試験です。



留学

一定の語学レベルまで達した参加者は、チェンマイ大学(タイ王国)、カリフォルニア州立大学(アメリカ)、国立政治大学(台湾)、ハンバット大学(韓国)など、プログラムが指定した海外の大学で原則として1年間(英語コースと韓国語コースについては半年から1年の間)の留学経験を積みます。

留学にあたっては、大学が経済的支援として奨学金を貸与します。なお、奨学金は本プログラムを修了し、所属学部を卒業したときは、返還が免除されます。

※本プログラムでの留学を理由に休学することはできませんので、留学期間中は本学の授業料が徴収されます。

プログラムの修了

香川大学および留学先大学でプログラムの修了要件を満たした学生には、オープンバッジ(修了認定証)が発行されます。特に優秀な成績を取めたと認められる学生には卒業時に学長表彰等を行います。

プログラム説明会

英語コースは入学当初に開催されるネクストプログラム全体ガイダンス、中国語コースと韓国語コースは授業の中で説明が行われます(中国語コースの希望者は、全学共通科目の初修外国語で中国語を、韓国語コースの希望者は、全学共通科目の初修外国語で韓国語を履修してください)。

※ネクストプログラムの詳細は、香川大学ネクストプログラムのホームページ(特に「履修の手引」)をご覧ください。

問合せ 教育・学生支援部修学支援課 (087-832-1365・1363 / syugaku-h@kagawa-u.ac.jp)

香川大学の交換留学制度を使って派遣されている海外の大学を一部ご紹介します。ここに掲載する以外の海外の協定校への交換留学も可能です。詳しくは、インターナショナルオフィスや所属学部学務係へお問い合わせください。

ドイツ・ラインマイン応用科学大学 ヴィースバーデンビジネススクール

【応募資格】

- 1 香川大学の正規課程の在籍学生(経済学部および経済学研究科または創発科学研究科)。
- 2 専攻分野での学習目的が明確で、勉学意欲に富む者。
- 3 学業成績が優秀である者。
- 4 応募時点で、すでにドイツ語6単位以上を修得済みの者で、ドイツ語技能検定試験2級以上に合格した者、あるいはこれに相当するドイツ語力を証明する証明書を持ち、さらに英語能力B2(CEFR)以上を証明する証明書を持つ者。

※応募要件は変更されることがあるので担当部署に確認をすること。

【募集人数】

原則5名以内

【留学期間】

(夏学期) 4月～9月

(冬学期) 10月～翌年3月

※変更されることがあります。

※学期前に実施されるドイツ語研修(3週間)にも参加していただきます。

【応募時期】

(夏学期) 前年度9月～10月頃

(冬学期) 前年度3月～4月頃

※変更されることがあります。

【留学費用】

1学期あたりの必要経費は、セメスター費約300ユーロ、寮費約350～650ユーロ/月、敷金・礼金約600ユーロ(いずれも変更の可能性あり)、その他に渡航費など諸経費が必要となります。香川大学グローバル人材育成特定基金事業(外国へ留学する学生援助事業)へ応募できます^(※)。

※この事業については、所属学部学務係、または国際課へ問い合わせること。

アメリカ・コロラド州立大学

【応募資格】

原則としてTOEFL iBT 79程度またはそれと同等の英語力を証明する証明書を有し、香川大学での学業成績が優秀であるもの

※応募要件は変更されることがあるので担当部署に確認を行うこと。

【募集人数】

1～2名(授業料不徴収、教育学部優先)

※留学希望者は、なるべく早く担当部署に相談に行くこと。

【留学期間】

(春学期) 1月～5月 (秋学期) 8月～12月

【応募時期】

前年度4月(春・夏学期) 前年度10月(秋学期)

【留学費用】

英語能力が不足している場合は、PLACE(集中英語プログラム)への参加が必要です。秋学期(2026/8/24・2026/10/19の2期間)、春学期(2027/1/19)及び夏のPLACEプログラムが開講されています。生活費用は1年間につき\$17,658、学内寮が\$8,029、学内居住者食費が\$9,479、学外居住者食費が\$4,491と見積もられています。

香川大学グローバル人材育成特定基金事業(外国へ留学する学生援助事業)へ応募できます^(※)。

※この事業については、所属学部学務係、または国際課へ問い合わせること。

問合せ (ラインマイン大学)教務課学務第二係 経済学部担当(087-832-1815 / je-kokusai-c@kagawa-u.ac.jp)
(コロラド州立大学)教務課学務係 教育学部担当(087-832-1411 / l-kokusai-c@kagawa-u.ac.jp)



医学部 学生派遣プログラム

タイ・チェンマイ大学看護学部派遣

(看護学科2～4年生、約1週間)

本学の最も重要なパートナー校の一つであるチェンマイ大学を訪問し、看護学部の講義や現地病院での実習に参加してタイの看護を学ぶとともに、学生交流等を通じて異文化への理解を深めます。

ブルネイ・ダルサラーム大学「夏季医学セミナー」派遣

(医学科2～4年生、約3週間)

ブルネイ・ダルサラーム大学で開催される夏季医学セミナーに参加し、ブルネイの学生とともにPBL(Project-based learning)方式によって英語で医学を学習します。さらにブルネイの自然に触れるとともに、イスラム文化等への理解を深めます。

「医科学研究」による海外派遣

(医学科3年生、約5週間)

医科学研究に一定期間集中して取り組み、医科学に対する研究力と研究倫理の涵養を目的とする科目「医科学研究」の一環として、ブルネイ・ダルサラーム大学を訪問し、英語環境の下で研究に取り組みます。

「医学実習Ⅱ」による海外臨床実習派遣

(医学科5～6年生、約3～6週間)

医学科5～6年配当科目「医学実習Ⅱ」における臨床実習の一環として、本学の協定校(準協定校含む)である英国・グラスゴー大学、英国・ロンドン大学セントジョージ医学校、英国・ニューカッスル大学、およびタイ・チェンマイ大学等における臨床実習に参加します。海外の先生方とともに臨床の現場で学ぶことで、医療人として世界に通用する高度かつ専門性の高い知識と能力の獲得を目指します。参加者には高い英語能力が求められます。



- ★これらの派遣事業に加えて、学生主体の派遣事業や、トビタテ！留学JAPANなど、様々な留学の機会があります。皆さんの挑戦を期待しています。また、海外の協定校から多くの留学生を受け入れています。
- ★各派遣事業の詳細については、医学部国際交流委員、および学務課教務係に問い合わせてください。
- ★留学先や期間に応じて、留学費用の支援制度があります。

問合せ先 医学部学務課教務係 (087-891-2071 / kyoumu-m@kagawa-u.ac.jp)



日本・インドネシアの農山漁村で展開する 6大学協働サービスラーニング・プログラム

Six-University Initiative Japan Indonesia - Service Learning Program(略称SUIJI-SLP)は、日本とインドネシアの6大学(香川大学、愛媛大学、高知大学、ガジャマダ大学、IPB大学、ハサヌディン大学)が協働して実施するプログラムです。6大学の学生がともに、四国とインドネシアの農山漁村地域に滞在し、現実社会が直面している課題に取り組みながら学びます。

現実社会の中で、他者と自分に向き合い、多様な人々と協働しながら、課題解決に向けた実践を試み、試行錯誤の経験の中から、未来社会の持続的発展に貢献できる国際的なサーバントリーダー(地域社会で献身的に活動するリーダー)を養成することを目的としたプログラムです。

「ベーシック海外サービスラーニング」 「アドバンスド海外サービスラーニング」

【研修先】

IPB大学(Bogor site)
ガジャマダ大学(Imogiri site)
ハサヌディン大学(Sulawesi site)

【内容】

上のいずれかの大学およびサイトで、インドネシアの学生と一緒に農山漁村に滞在して、実践・貢献しながら学ぶ。

【研修時期】

2～3月頃、3週間程度

【履修要件】

TOEIC 400点以上ほか英語要件あり。農学部以外の学生の履修も可能^(※1)。

全学共通科目主題B-2「サーバントリーダー養成入門」、および農学部「ベーシック国内サービスラーニング」「アドバンスド国内サービスラーニング」とセットで履修することが望まれる。

(※1) 農学部以外の学生の単位認定については、所属学部に確認すること。

(※2) 香川大学・愛媛大学・高知大学のいずれかの教員が引率。

問合せ 農学部学務係 (087-891-3005 / gakumu-a@kagawa-u.ac.jp)



【定員】

農学部学務係に
確認すること。

【教員の引率】

有^(※2)

【費用】

20万円程度(サイトにより異なる)、その他
雑費(履修学生負担)

日本学生支援機構の奨学金9万円程度(給付
基準を満たす者のみ)(予定)

STUDY ABROAD

社会で活躍できるグローバル人材育成のための研修プログラムを本学の学術交流協定校において提供します。①英語語学研修(西オーストラリア大学)と②Discover Brunei Course(ブルネイ・ダルサラーム大学)の2つのプログラムがあります。海外での経験を積むことにより、「生きた英語力」と「国際的感覚」を高めることを目的としています。

【研修先】

- ①西オーストラリア大学
- ②ブルネイ・ダルサラーム大学

【研修時期】

- ①8～9月、5週間
- ②8～9月、4週間

【履修要件】

全学部生

【履修方法】

全学共通科目・高学年向け教養科目「Study
Abroad」として開講。

【費用】

- ①約75～85万円
- ②約40～50万円

問合せ インターナショナルオフィス 滝川
(087-832-1198 / takigawa.yuko@kagawa-u.ac.jp)

【定員】

約15名

【本学教員の引率】

無



中国語 + 台湾文化研修

台湾の国立嘉義大学で実施される、台湾文化やSDGsに焦点を当てたプログラムで、申請は例年11月頃です。実施期間は春休み中の約2週間で、中国語の基礎とSDGs等に関連した内容を、楽しく学習可能です。教授言語は英語で、教員の引率はありません。

問合せ インターナショナルオフィス 高水 (087-832-1195 / takamizu.toru@kagawa-u.ac.jp)



マレーシア・多文化体験プログラム プトラ・マレーシア大学の学生と共に学ぶ 超短期留学入門プログラム

本授業は海外異文化体験の入門です。香川大学学術交流協定校のプトラ・マレーシア大学 (UPM) との連携のもと、マレーシアの文化や自然を体験しつつ、多文化社会の理解を深めることを目的としています。UPM での講義とフィールドワークを組み合わせる学び、その成果は現地でまとめてプログラムの終盤に発表します。

本学の授業では、異文化体験の基盤となる知識とスキルを学びます。現地では UPM 学生 (バディ) のサポートがあり、海外渡航が初めての方が参加しやすいプログラムです。

【研修先】

プトラ・マレーシア大学、クアラルンプール等

【研修時期】

8月～9月、現地に約1週間滞在

【定員】

約20名

【本学教員の引率】

有

【履修要件】

本学の学生 (英語力および学部不問)

【履修方法】

前期 全学共通科目・主題 (第2クォーター) および高度教養教育科目 (夏季集中講義) 「海外体験型異文化コミュニケーション」として開講。

【費用】

約30万円



問合せ インターナショナルオフィス 滝川 (087-832-1198 / takigawa.yuko@kagawa-u.ac.jp)

開発途上国でのボランティア活動・インターン (JICA 関連)

香川大学は独立行政法人国際協力機構 (JICA) と連携し、開発途上国での国際協力に貢献できるグローバル人材の育成を目指しています。また JICA と連携して開発途上国の人材を本学に留学させています。

学生が参加可能なプログラムとして、ボランティア事業への参加、JICA の国内機関・海外事務所や国際協力プロジェクト現場におけるインターンがあります。

ボランティア事業は「JICA 海外協力隊」として知られており、原則2年間の長期派遣と、1か月～1年の短期派遣があり、年2～3回公募されます。活動分野は人的資源 (理科教育、数学教育、幼児教育、青少年活動、音楽、スポーツ、青少年活動など)、農林水産 (稲作、野菜、家畜飼育など)、保健医療 (看護師、感染症対策、公衆衛生など)、社会福祉 (障がい児・者支援、ソーシャルワーカーなど) と多岐にわたっています。今までに香川大学 (含、大学院) からは100名の学生・卒業生が長期ボランティアとして42か国での活動に参加しています (2026年1月現在)。JICA インターンは大学の長期休暇を中心として、JICA の東京本部や地方の国内機関 (高松の JICA 四国)、海外事務所及び海外の国際協力プロジェクト現場で1～3か月程度実施するもので、年1回公募されます。将来国際協力に従事したい方はもちろん、将来海外で働いてみたい方にもお勧めします。

	JICA 海外協力隊 (長期)	JICA 海外協力隊 (短期)	JICA インターン
応募資格	満20歳から満69歳までの日本国籍を持つ者	満20歳から満69歳までの日本国籍を持つ者	日本語での業務遂行が可能な大学生・大学院生 (国籍不問)
派遣先	アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中東の約80か国	アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中東の約80か国	JICA 本部、国内機関、JICA 海外事務所、国際協力プロジェクト現場
派遣期間	原則2年間	1か月～1年	1か月～3か月
募集時期	年2回 (春と秋)	募集時期、回数未定	年1回 (3月、2025年度)
待遇など	JICA の規程に基づき往復旅費、現地生活費、住居費等を支給	JICA の規程に基づき往復旅費、現地生活費、住居費等を支給	原則自費。海外インターンの場合は旅行傷害保険加入、予防接種、滞在費について一部補助あり

問合せ 国際課 (087-832-1149 / globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp)

経済学部「(特別講義) 海外研修」

それぞれの外国語について、現地で短期間の語学研修を行うとともに、自らが外国人となり、現地の人々と積極的に交流します。また、各種文化施設、商業施設、歴史的建造物、観光名所などを訪れ、当該国の文化・社会・歴史・生活について実践的に学びます。経済学部以外の学生の履修も可能です^(※)。

アメリカ**【研修先】**

ハワイ大学
マノア校
(2026年度
実施予定)

**【内容】**

ハワイ大学マノア校において、3週間の語学研修を行う。

【研修時期】

3月頃

【定員】

10名以下
(現地プログラム
や宿泊の都合で参
加人数を制限する
ことがあります。)

【履修要件】

海外旅行未経験の1
~2年生の参加を優
先する。

【教員の引率】

有(出国時のみ)

【履修方法】

10月に経済学部およ
び全学共通教育の掲
示板にて案内する。

【費用】

約50万円
(履修学生負担)

ドイツ**【研修先】**

ラインマイン応用科学大学
(2026年実施予定)

**【内容】**

ラインマイン応用科学大学での語学研修、
ヴィースバーデン市でのフィールドワークを
行う。フィールドワークの目的や内容は各
学生の興味関心に沿って設定する。

【研修時期】

2月末~3月上旬頃、約10日間

【履修要件】

全学共通科目のドイ
ツ語を受講している
学生。

【定員】

12名前後

【教員の引率】

有

【履修方法】

10月初旬に開催され
る説明会に参加した
上で、10月中に参加
申込書を提出する。

【費用】

約45万円
(履修学生負担)

台湾**【研修大学】**

真理大学(2026年度実施予定)

【内容】

中国語のレッスンを受けるとともに、真理大学の
学生と交流を行い、台北及び淡水の教育文化施
設などにおいて研修見学を行う。

【研修時期】

9月、2週間以内

【教員の引率】

有

【定員】

12名前後

【費用】

約20万円(履修学生負担)

【履修要件】

全学共通科目の中国語を
4単位以上取得、1年生
の場合は前期2単位を修
得し、後期開講の中国語
を受講している学生。



履修方法: 6月から7月に、研修の概要につい
てのプリントを中国語の授業時に配布するので、
よく読んで検討すること。履修希望者は海外研
修説明会に出席し、後日申込書兼保証人同意
書を学務係に提出する。

韓国**【研修大学】**

本学の韓国協定校(例:ハン
バット大学校、建国大学校)
(2026年度実施予定)

**【内容】**

韓国語の授業と実地研修(韓国文化社会体験)を行う。

【研修時期】

8月、約2週間

【教員の引率】

経済学部参加学生数などにより
有。本学教員の引率がなく、学
生のみで参加の場合、協定校
の教職員がサポートする。

【定員】

10名程度

【履修要件】

韓国語Iの単位を修得見込み又は取得済みの
者で、研修後の後期に韓国語IIの単位を
履修予定または単位修得済みの者。韓国
語Iを履修中の1年生から申し込める。

【履修方法】

シラバスに掲載する。それによって履修
希望を提出する。

【費用】

約20万円(履修学生負担)

※経済学部以外の学生の単位認定については、所属学部を確認すること。また、経済学部生の参加が4名を下回る場合は実施されないこともある。

フランス**【研修先】**

トゥール(予定)
(2026年実施未定)

【内容】

フランス語学学校での語学研
修および現地での実践的研修
を行う。実践的研修には現地の
大学や市役所を通じた交流など
が含まれる。

【研修時期】

3月上旬頃、約2週間

【履修要件】

全学共通科目のフランス語を4単位以上
取得済みか取得予定であること。

【履修方法】

夏休み前に、研修の概要について
のプリントをフランス語の授業時に配布す
るので、よく読んで検討すること。履
修希望者は10月の研修説明会に出席
し、説明を受けたいうえで、10月下旬
に申込書兼保証人同意書を学務係に
提出する。

【定員】

12名前後

【教員の引率】

有

【費用】

約40~50万円
(履修学生負担)





協定校訪問

一 創造工学部・工学研究科・創発科学研究科（工学系領域） 「協定校訪問交流プログラム」

創造工学部の協定校のうちいずれか1校、または複数校を訪問します。協定校での交流や英語による研究発表の他、地元企業への訪問も行います。

【訪問先】

年度によって異なる。その年度の訪問先大学は創造工学部で確認すること

【定員】

約15名

【内容】

概要は上記の通り。
詳細は創造工学部で確認すること。

【教員の引率】

有

【費用】

訪問先によって費用は異なる（学生負担）。
後援会加入者でこのプログラム初参加の者には、後援会より助成あり。

【訪問時期】

9月頃、1週間程度

【参加要件】

創造工学部生、工学研究科大学院生、
創発科学研究科（工学系領域）大学院生

【募集時期】

4月

※ 創造工学部で募集要項を入手すること。
このプログラムに応募する学生は説明会へ必ず参加すること。
また、選考後の準備会と事後報告会にも必ず参加すること。

【選考方法】

書類審査と日本語・英語での面接審査による。



問合せ 創造工学部学務係(087-864-2015 / kokokusai-t@kagawa-u.ac.jp)

国際インターンシップ

一 創造工学部・工学研究科・創発科学研究科（工学系領域） 「国際インターンシップ」

フランス、ドイツ、スウェーデンなどにある創造工学部の協定校のうちいずれか1校のインターンシップに参加します。インターンシップ先は協定校の研究室や研究機関などです。

【派遣先】

創造工学部・創発科学研究科（工学系領域）と
インターンシップ協定等を締結している海外
の大学のうちいずれか1校を選ぶこと。
尚、インターンシップ協定等を締結している海
外の大学は以下の通り。

- フランス
サポア・モンブラン大学
コンピエーニュ工科大学
ESIEE PARIS
アルピ鉱山大学
アレス鉱山大学
- ドイツ
ボン＝ライン＝ズィーク大学
- スウェーデン
ハルムスタッド大学
- オーストラリア
キャンベラ大学

【内容】

概要は上記の通り。詳細は創造工学部で確認すること。

【留学時期】

9月頃、2～6か月程度（諸条件によって異なる）。
詳細は創造工学部で確認すること

【履修要件】

創造工学部3～4年生、かつTOEIC500点
程度を有する者。
創発科学研究科（工学系領域博士前期課程）
1～2年生、博士後期課程1～2年生、かつ
TOEIC550点程度を有する者。その他条件
は、創造工学部で確認すること。

【募集時期】

12月頃

※ 創造工学部で募集要項を入手すること。
このプログラムに応募しようとする学生は事前説明会へ必ず参加すること。また、選考後の準備会と事後報告会にも必ず参加すること。

【選考方法】

書類審査と英語による
面接審査による。



【定員】

約10名

【教員の引率】

無



【費用】

派遣先によって費用は異なる（履修学生負担）。
後援会加入者には後援会より助成あり。
香川大学グローバル人材育成特定基金事業
（外国へ留学する学生援助事業）へ応募できる。

※この事業については、創造工学部へ問い合わせること。

問合せ 創造工学部学務係(087-864-2015 / kokokusai-t@kagawa-u.ac.jp)



農学部「国際応用科学研修I・II」



農学研究科「ダブルディグリープログラム」

国際応用科学研修 I

【研修先】

タイ・アサンプション大学



【内容】

交流協定校であるアサンプション大学で英語による授業を受講する。また、現地の大学生との交流や研究室での活動、プレゼンテーションを行う。

【研修時期】

2月の定期試験終了後、1週間程度

【定員】

8名程度
(6名以下の場合は、開講できない可能性がある)

【履修要件】

農学部1~4年生

【本学教員の引率】

有

【履修方法】

11月頃説明会を開催し、参加者募集。開催日は農学部学務係で確認すること。農学部特別講義「国際応用科学研修I」として開講。

【費用】

約18~22万円、その他雑費(履修学生負担)
農学部後援会補助上限3万円(後援会加入者のみ)

国際応用科学研修 II

【研修先】

ベトナム・ハノイ工科大学
タイ・アサンプション大学など(予定)



【内容】

交流協定校であるベトナム・ハノイ工科大学などに約1ヶ月間派遣し、大学教員による食農に関するセミナーを、現地の大学生とともに受講する。また、現地大学の研究室での研修、現地の大学生との研究交流及びジョイントセミナーでの発表を行う。さらに、現地の食品工場を訪問し、海外での食品製造の現場を視察、ローカルと日系の食品工場との相互比較を行う。

【研修時期】

8~9月、または、2~3月の32日~40日程度

【定員】

約8~10名

【履修要件】

農学部2~4年生

【本学教員の引率】

有

【履修方法】

4月頃または11月頃に説明会を開催し、参加者募集。開催日は農学部学務係で確認すること。農学部特別講義「国際応用科学研修II」として開講。

【費用】

約20~24万円、その他雑費(履修学生負担)
農学部後援会補助上限3万円(後援会加入者のみ)
日本学生支援機構の奨学金16~18万円程度(給付基準を満たす者のみ)(予定)

※ 上記プログラムは予定です。状況によって、変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

問合せ 農学部学務係(087-891-3005 / gakumu-a@kagawa-u.ac.jp)

農学研究科「ダブルディグリープログラム」

ダブルディグリープログラムは、香川大学大学院農学研究科と、海外の学術交流協定校のそれぞれから修士の学位を取得できるプログラムです。現在、本学大学院農学研究科とダブルディグリープログラムを実施しているのは、チェンマイ大学大学院農学研究科、同大学院農産学研究科、嘉義大学大学院農学研究科の3機関です。学生は、本学に在学しながら上記のいずれか1つの教育機関にも籍を置き、両大学の教員から指導を受けます。

国際的な連携による教育のもと、最先端の科学技術を学ぶことで、グローバルな社会や産業の発展に貢献できる人材の育成を目指します。

【留学先】

- ・タイ・チェンマイ大学大学院農学研究科、または農産学研究科
- ・嘉義大学大学院農学研究科

【履修方法】

4月頃募集。詳細は農学部学務係で確認すること。

【定員】

- ・チェンマイ大学 計3名
- ・嘉義大学 若干名

【内容】

概要は上記の通り。詳細は農学部学務係で確認すること。

【留学時期】

8月~翌年7月、約1年間

※ 約1年間の留学期間を含み、修士課程入学から2年半、香川大学大学院に在籍することが求められる。

【教員の引率】

無

【費用】

訪問先により異なる(学生負担)。
香川大学グローバル人材育成特定基金事業(外国へ留学する学生援助事業)へ応募できる。

※ この事業については、農学部学務係、または国際課へ問い合わせること。

【履修要件】

農学研究科修士課程1年生、
IELTS 5.0、TOEFL IBT 45以上(チェンマイ大学)



問合せ 農学部学務係(087-891-3005 / gakumu-a@kagawa-u.ac.jp)

留学経験者の声

香川大学の留学プログラムを利用した学生を紹介します。

小川 奈緒子さん(創造工学部4年生※) 留学制度 EXPLORE

留学先 チェンマイ大学(タイ)

留学期間 2024年11月~2025年3月

私は大学4年生の11月から3月までの約5か月間、タイのチェンマイ大学に留学していました。

チェンマイ大学では、主に環境化学について学び、自身の研究の考察を深めることができました。講義は座学だけでなく、グループプレゼンテーションやフィールドワークも多く、講義を通して交流が広がりました。また、多様な価値観に触れる中で、自ら行動することの大切さを実感し、積極的にコミュニケーションを図る力も身に付いたと感じています。何より、タイの豊かな自然や美しい景色に囲まれて過ごした日々は、今も鮮明に心に残っています。

留学前は、語学力や海外での生活など、不安なことがたくさんありましたが、事前研修や先生方の親身なサポートのおかげで、一つずつ不安を解消して準備を進めることが出来ました。私が留学したいと思った最初のきっかけは、高校生の時に見たドラマです。ちょっとしたきっかけから生まれた夢を、実際に海外で学ぶという貴重な経験に繋がれたことも、自分にとって大きな自信になりました。

少しでも興味がある方は、ぜひ相談したり、話を聞いたりすることから始めてみてください。



入谷 那々花さん(教育学部3年生※) 留学制度 協定校への留学

留学先 クライストチャーチ工科大学(ニュージーランド)

留学期間 2025年2月~3月

「英語が苦手な人こそ、留学に行くべきだよ」

バテン先生のこの一言をきっかけに、私は留学を決意しました。私は英語が大の苦手な人で、分かるのはbe動詞くらい。それでも、私に留学を勧めたことが、「これはチャンスかもしれない」と思わせてくれました。

私は、耳がきこえません。英語ができないことや、きこえないことは、できない理由として挙げるこ



もできます。けれど留学を通して、「どうすればできるかを考える」という視点を持つことが大切なのだと感じるようになりました。

You need to get out of your comfort zone!

「comfort zone」は、留学中に会った言葉です。直訳すると「快適ゾーン」。ニュアンスとしては、安心できる環境や慣れた状況から一歩踏み出し、新しい方法や考え方を探していくことの大切さを表しています。この言葉は、翻訳機に頼るだけでは十分に理解できません。英語そのものの意味や使われ方、場面ごとのニュアンスを考える中で、少しずつ自分の中に落とし込まれていった言葉です。

あたり前になっている日常を問い直すためには、別の「あたり前」(文化や言語など)に出会い、実際に経験することが必要だと、留学を通して再認識しました。もし、comfort zoneを超えてみたいと思ったら、きっと新しい発見があるはず!「できない」で終わらせず、自分なりの方法を探す経験は、留学の中にたくさんあります。最後に、もう一つお気に入りの言葉を添えて終わります。

Be the change that you wish to see in the world!

渡辺 欧介さん(経済学部2年生※)

留学制度 ネクストプログラム

留学先 真理大学

留学期間 2025年2月~2026年1月

私は大学に入ってから中国語を学び始めました。ネクストプログラムに進んだのも、授業で先生に発音を褒められたことがきっかけでしたが、実際は中国語が苦手で、最初はまったくできませんでした。同期は3人だけという少人数だったため、互いに励まし合いながら学べたことは大きな支えでした。

留学してみて、いまでは心から「来て良かった」と思っています。寮生活や授業の形式など、日本と異なる環境に戸惑うこともありましたが、それを含めて留学の楽しさだと感じていました。

真理大学では、留学生向けのイベントや生の中国語に触れられる機会が豊富で、授業ではインドネシアや韓国など多国籍の学生と学ぶため、語学だけでなく異文化理解も深まりました。日々の交流が、自分の視野を大きく広げてくれました。

留学がなければ得られなかった経験ばかりで、自分自身も大きく成長できたと感じています。だからこそ、後輩の皆さんにも留学を強くおすすめしたいです。一歩踏み出すことで、必ず新しい自分と出会えるはずですよ。



留学経験者の声

中山 英里さん(農学研究科1年※)

留学制度 研究留学(国際研究)

留学先 農業ゲノム研究センター(スペイン)

留学期間 2022年9月~2023年2月

私は大学院1年の9月から2月までの約半年間スペインのバルセロナにあるCRAG研究所(農業ゲノム研究センター)に研究留学を行いました。私の研究対象が植物病原菌であり、CRAG研究所に在籍する教授と共同研究を行っていたことから、その教授のもとで植物を用いた実験手法について学ぶため、スペインへの留学を決めました。また、大学入学後に練習に励んできた自分の英語のレベルを確認したいと感じていました。



留学先のCRAG研究所は国際色豊かで、様々な国籍の人が在籍していたため、基本的に英語でコミュニケーションをとっていました。早口の英語を聞き取るのはとても大変だったのですが、根気強くコミュニケーションを取り続けることで徐々に慣れることができました。

この留学は私にとって、非常に大きな挑戦でした。この留学を経験するまでは1人で海外に行ったことがなく、海外を訪れるのも2回目だったためです。しかし、様々な国籍の人と交流していく中で自分の価値観や視野を広げることができ、非常に良い経験をすることができました。また、この留学を通して小さなことで動じない忍耐力を身につけることができ、自分に自信が持てるようになりました。

松崎 菜央さん(農学研究科2年※)

留学制度 研究留学(国際研究)

留学先 カセサート大学(タイ)

留学期間 2023年9月~11月

学部1・2年ではSUIJI-SLPに、修士1年では国際応用科学研修に参加した事がきっかけで、海外で環境コンサルタントとして働きたいと思うようになりました。そこで、修士2年では、タイのカセサート大学水産学部への3か月の研究留学に挑戦しました。植物プランクトンの高い培養技術を持つ先生のもとで、実験に取り組み、その理解を深めることを目的としました。



まず初めに、自分の実験環境を整える必要がありました。しかし、必要な実験器具や試薬を手配する上で、先生や学生に上手く交渉できず、自分の英語力の未熟さを痛感しました。そこで、会話や論文に出てくる単語の意味を逐一調べて実際に使うようにしました。すると実用的な専門英語で説明ができ、実験を無事進めることができました。また、実験の進捗報告を定期的に行い、先生との議論を通して自分の研究について理解を深めることができました。今回の留学で得た知識や経験は将来必ず活かされると確信しています。

香川大学は夢を後押ししてくれる場所です。6年間の大学・大学院生活で4回も留学に挑戦できたのは、香川大学の充実した奨学金制度や、先生や職員の方の支援のおかげです。ぜひ、皆さんも挑戦してみてください！

菊川 航次さん(経済学部3年※)

留学制度 協定校への留学

留学先 ラインマイン応用科学大学

留学期間 2024年9月~2025年8月

私は2024年の9月から1年間、ドイツのラインマイン応用科学大学に留学していました。留学先では交換留学生としてヨーロッパ圏内や南米、アジアなど様々なところからやってきている生徒が多く、たくさんの友達に囲まれて過ごしました。楽観的な性格の私ですが、周りの英語力とコミュニケーション能力の高さに圧倒され、落ち込むこともありましたが今となってはそのおかげで強くなれたと感じています。また、大好きなフットボールを通じて多くの体験や出会いを経験しました。スタジアムを訪れた時のあの感動や、フットボールを通じて出会った友達と暗くなるまでボールを蹴った日々は一生忘れません。ドイツで出会った人々やこれらの経験は本当に一生の宝物です。留学に行くのは確かにお金も試験勉強も周りの説得も勇気も必要です。しかし、これを読んでいるあなたが少しでも踏み出してみたい。挑戦してみたいと思えばこれらは全部Scheiße。是非チャレンジしてみてください。



矢島 大暉さん(創発科学研究科1年※)

留学制度 国際インターンシップ

留学先 キャンベラ大学(オーストラリア)

留学期間 2024年8月~2024年11月

私は、大学院1年の8月から11月にかけて約3ヶ月間オーストラリアのキャンベラ大学に留学をしていました。留学をするまでは海外とは無縁の生活を送っており、旅行で1度滞在した程度でしたが、今後のキャリアを見据えた際に、私よりも遥かに優秀な人たちと戦っていく武器や経験がないと思い、留学という新しい挑戦に踏み切りました。



現地では、主に研究活動とスーパーバイザーの先生のご厚意で日本建築とリサーチメソッドの授業にも参加させて頂きました。研究では、研究調査対象事業に従事されている方へインタビュー調査を行いました。コミュニケーションは当然ですが全て英語になるため、その日理解できなかったフレーズなどは書き留めて、意味を確認し、現地でも英語力向上に努める日々でした。

今回の国際インターンシップを通して私は、3ヶ月という短い期間だったため、苦しい経験はあまりできなかったのですが、留学を通して視野が広がり、今後のキャリアも国内だけでなく国外にチャレンジしてみたいという心境の変化もありました。帰国後は国際学会に参加し、活動の幅も留学を契機に広がっています。留学を検討している方は是非挑戦をお勧めします。

※留学当時の所属

海外渡航学生のための危機・安全管理

海外渡航中に事故や病気にかかったり、犯罪に巻き込まれたりしないために、出発前の十分な情報収集や健康管理を心がけてください。また、災害や暴動などの緊急時にも慌てず対応できるように、事前に、担当教員や保護者、留学先の大学などの担当者との連絡体制を確認しておきましょう。

香川大学を通して海外へ派遣される学生は、**本学が指定する海外危機管理サービスへの加入と渡航前オリエンテーション(危機管理セミナー)の受講が義務付けられています。また、個人旅行などの私事渡航の学生も、このセミナーへ出席することが求められています。**

渡航学生が取るべき危機対応要点

1. 国際情勢や、渡航先の安全性（テロ、自然災害、感染症など）についての情報収集を必ず行うこと。
(外務省、厚生労働省などのウェブページを参照)
2. 渡航中の危機に備える海外旅行保険などに加入すること。
3. 渡航先の政治・社会・文化、日本との関係や対日イメージなどを理解しておくこと。
4. 災害やテロなどの緊急時の安否確認、退避の手配などの連絡・保護が在外公館から受けられるように、必ず、外務省「たびレジ」に渡航予定を登録しておくこと。また、3か月以上外国に滞在する者は在留届電子届出システム（「ORRnet」）での滞在予定の登録も義務付けられています。
5. 緊急連絡先（留学先などの電話番号や住所など）を記したメモなどを外出の際は必ず携帯すること。
6. 留学先の関係者に緊急時の本学への連絡先を知らせておくこと。
7. 緊急時の保護者への連絡方法を確認しておくこと。

渡航前の手続き等チェック!

- パスポートの写しを所属学部へ提出する。
- 「海外渡航・一時帰国届」を所属学部へ提出する。
- 「海外渡航・一時帰国届」に以下の書類を添付する。
 - 渡航目的の概要(研修プログラムや飛行機のスケジュール等)が分かる資料
 - 旅行社の連絡先が分かる資料
 - 海外旅行保険証書のコピー(本学のプログラムの場合は、OSSMA Plusの加入者証と上乗せ海外旅行保険の英文付保証書両方の写しを提出、それ以外での渡航は別の海外旅行保険の加入者証を提出)
 - 新型コロナウイルス感染症の影響により、提出書類は随時変更となる可能性がある。所属学部、または国際課に確認すること。
- 危機管理セミナーに出席する。
- 外務省「たびレジ」へ渡航予定を登録する(3か月未満の渡航の場合)。
- 外務省「ORRnet」で滞在予定の登録をする(3か月以上の滞在の場合)。
- 渡航や滞在予定の国や地域の安全情報を確認する。

「たびレジ」と「ORRnet」の登録はこちらからどうぞ。

ホームページ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>



自分が渡航や滞在を予定している国や地域の安全は、事前に必ず確認しましょう。

外務省の海外安全情報はこちらからどうぞ。

ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>



問合せ先 各学部学務係、または国際課(087-832-1148 / globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp)

海外留学のための奨学金

本学の学生が海外の大学などへ留学するための奨学金を紹介します。これらの他にもいくつかの奨学金がありますので、詳しくは国際課及び各学部学務係で確認してください。多くの奨学金は留学開始の半年、または1年以上前から募集が開始されます。奨学金の取得を目指す学生は、早い段階から準備を始めましょう。

奨学金名称	応募資格 ^(※)	支給額	返還義務	募集期間
独立行政法人 日本学生支援機構 海外留学支援制度 (大学院学位取得型)	修士・博士の学位を取得するために留学（ダブルディグリープログラム等国際共同学位プログラムによる留学を含む）する、日本国籍を有する者、または日本への永住が許可されている者 その他、学業成績要件、語学要件、年齢制限等がある。 《特別枠》 指定する専攻分野にて博士の学位を取得するため、指定する大学を留学先とする者	《奨学金》 月額17万7千円～38万8千円 《特別枠》 月額22万7千円～83万3千円 渡航支援金 1万円 ※留学先国・地域により異なる ※授業料の支給なし ※奨学金月額は2025年度実績	無	9月頃
独立行政法人 日本学生支援機構 海外留学支援制度 (協定派遣)	本学と諸外国の大学等との学生交流に関する協定等に基づいて、本学に在籍したまま、31日以上1年以内(タイプA)または8日以上1年以内(タイプB)の期間、本学が実施する派遣プログラムにより派遣される学生(大学がプログラムを申請)	《奨学金》 渡航支援金 (基準を満たす者のみ) 1万円もしくは16万円 月額8万円、9万円、11万円、12万円のうち、いずれか(渡航先に応じて決定する)。	無	プログラム開始時期により異なる (掲示に注意すること)

奨学金名称	応募資格 ^(※)	支給額	返還義務	募集期間
独立行政法人 日本学生支援機構 第二種奨学金 (海外)	学位取得を目的として海外の大学・大学院に留学を希望する者	《大学》 月額2万円～12万円の1万円単位から選択 《大学院》 月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から選択	有 (有利子)	進学時期により異なる
香川大学グローバル人材育成特定基金 外国へ留学する学生援助事業	本学在籍の学生又は大学院生で6ヶ月以上外国の大学等へ留学する者、またはダブルディグリー・ジョイントプログラムにより外国の大学へ留学する者で、部局長等が推薦する者	《奨学金》 月額3万円 《準備金》 4万円(アジア地域) 8万円(アジア地域以外)	無	留学開始時期により異なる

(※)ここに掲載している情報は2026年3月現在の情報です。
最新情報、応募資格の詳細については、各奨学金の募集要項で確認してください。

問合せ先 国際課 (087-832-1149 / globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp)

海外留学のための奨学金

かがわグローバル人財共創事業

「グローバル・スタートアップ海外研修プログラム」

【概要】

香川地域人材育成コース協議会は、2015年度から2022年度にかけて官民協働の海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム(地域人材コース)」を通じ、計23名の学生の海外留学を支援してきました。

地域人材コースでの実績を踏まえ、2024年度より新たに「かがわグローバル人財共創事業」を開始し、その一環として、「グローバル・スタートアップ海外研修プログラム」の募集を開始しました。

本プログラムは、学生自身が香川における課題を設定し、その解決に向けた実践的な学びを海外で深めることを支援するものです。海外での学びを通じて、広い視野を身につけ、地域社会に貢献できる人材の育成を目指します。

【これまでの派遣実績】

- ・2024年度（第1期生）
インドネシア：1名
フィンランド：1名
- ・2025年度（第2期生）
ドイツ：1名
ニュージーランド：1名

【お問い合わせ先】

本事業の詳細については、以下までお問い合わせください。

香川地域人材育成コース協議会(香川大学国際課内)

メール:kokusai-h@kagawa-u.ac.jp



【学生の体験談(グローバル・スタートアップ海外プログラム)】

杉村 朔良さん(法学部4年※)

留学先 Wiesbaden Business School 留学期間 2025年10月

私は「ドイツの移民政策に学ぶ香川県の共生モデルの模索」というテーマのもと、ドイツへ留学しました。ドイツではWiesbaden Business Schoolにおいて、ドイツの若者を中心に移民に対する意識調査を実施しました。アンケートやインタビューを通じて、移民を受け入れる社会において人々が抱く期待や不安、政治的態度との関係性について分析しました。また、留学期間中には内定企業のドイツ子会社にてインターンシップを行い、実際の職場における多国籍な人材の働き方や、企業が進める多文化共生の取り組みを現場で学びました。異なる文化的背景を持つ人々が協働する環境を体験し、駐在員の方々と出会いを通じて自分自身のキャリアプランがより明確になりました。

学業面だけでなく、日常生活においてもドイツ社会を深く知る機会に恵まれました。現地の友人と交流しながら、移民を身近な存在として受け止める一方で、社会的摩擦や課題について率直に議論する経験は、文献や講義だけでは得られない経験でした。また香川大学に留学していた友人たちとの再会は本当に嬉しく、助け合える関係性があることは幸せなことだと感じました。留学中はスイスやフランスにも滞在し、日本とは異なる食文化や生活様式を体験することで、ヨーロッパ全体の多様性にも触れることができました。国境でのパスポートチェックがないことは新鮮で、日本では当たり前だと感じていた制度や感覚が、決して当たり前ではないことを実感しました。

留学は、自分自身を知る大きな契機となり、同時に、異なる背景を持つ人々と共に生きる楽しさや難しさを教えてくれます。興味のある方にはぜひ今ある慣れ親しんだ環境を飛び出してほしいです。そこには苦勞しながらも留学でしか得られない素晴らしい経験があるはずです。



※ 留学当時の所属

キャンパスのなかでの国際交流活動

グローバル・カフェ(幸町キャンパス)

OLIVE SQUARE 2階の「グローバル・カフェ」は、日本人・外国人を問わず、学生同士が自由な交流を通して文化や言語を学び合い、異文化理解を深める活動をするアクティブラーニングスペースです。実践的な語学力を高めたいという学生のために、香川大学の教員や留学生による多言語クラスや、IELTSやTOEIC Speaking Testの準備クラス等を開講しています。また、英語プレゼンテーションコンテスト、英語俳句コンテストや留学促進イベントを実施しているほか、学生が中心となって季節ごとの交流イベントを開催しています。グローバル・カフェ、学習ラウンジの開室時間は、平日の10時から17時までです。ぜひ気軽に足を運んでください。



【学生 VOICE】

欠田 悠太さん(経済学部2年)

私は現在、レジデンスチューターとして留学生と同じ寮に住みながら生活面のサポートを行うとともに、香川大学異文化交流会(Inter-Cultural Exchange Society、以下 ICES)というサークルで、留学生と日本人学生を対象とした国際交流イベントの企画・運営に携わっています。このような活動を始めるきっかけとなったのが、グローバル・カフェとの出会いでした。

初めてグローバル・カフェを訪れたとき、英語が話せない自分が入っても大丈夫だろうかという不安がありました。しかし、実際に足を踏み入れてみると、先生方や先輩方が温かく迎えてくださり、次第に安心して過ごせる場所になっていきました。

グローバル・カフェでは、英語だけでなく、スペイン語や中国語、各国の歴史など、多様な学びの機会が用意されています。昼休みには、学生、教職員、留学生が国籍を問わず自然に交流しており、私自身も毎日のように通って、一緒に食事をしながら会話を楽しんでいます。留学をしなくても、ここに来ればさまざまな国の人と出会い、話すことができる点は、大きな魅力だと感じています。

特に印象に残っているのは、2025年にICESが企画した「Welcome Party」に主体的に関わった経験です。留学生と日本人学生が多数参加し、国籍や学年を越えた交流の場をつくることができました。この経験を通して、異文化交流の面白さをより強く実感し、海外の人々や文化についてさらに深く知りたいと思うようになりました。その思いが、レジデンスチューターとしての活動にもつながっています。

グローバル・カフェは、私自身の価値観を広げ、新しい挑戦や選抜肢を与えてくれた場所です。ここでの出会いや経験は、これからの大学生活、そして将来へとつながる大切な一歩になっています。

幸町キャンパス以外でも、イングリッシュカフェを実施しているキャンパスもあります。各キャンパスの掲示板や事務窓口で確認しましょう。

問合せ 087-832-1268
087-832-1342(不在時は左記にお電話ください)
globalcafe-h@kagawa-u.ac.jp

RATTHALOENGSAK KANYAPAK

(ラットラン・サク・ガンヤック)さん

私は暖かいところが好きです。それは温度だけではなく、雰囲気も含めて、特に友達がいる場所です。香川大学に留学する前、チェンマイ大学に留学していた香川大学の友達ができました。その友達から「グローバル・カフェで会おうね」と言われ、どんな場所なのか興味を持ちました。

実際に行ってみると、最初の日に3人の友達ができ、ここは本当に温かい雰囲気のある場所だと感じました。日本人の学生から声をかけてもらったり、自分からもいろいろな国の友達を作ったりすることができました。先生やスタッフの皆さんもとても親切で、寒い時期でも心も体も「あたたかく」過ごせる場所です。

私は次の授業を待つ時間によくグローバル・カフェを利用しています。自分のスペースで課題ができ、友達と話したり、グループディスカッションをしたり、ボードゲームで遊んだり、お弁当を食べながら交流することもできます。さらに、国際交流や文化紹介イベント、日本文化を学ぶイベントも多いです。グローバル・カフェの中でできるイベントもありますが、学外で行われるイベントもあるので、友達と一緒に参加しながら新しい出会いを広げることができます。

このように、グローバル・カフェは勉強だけでなく、人との出会いやつながりを大切にできる場所です。ここに来ると、いつも安心した気持ちになり、前向きに過ごせることができます。友達や先生、スタッフの皆さんに支えられながら過ごした時間は、私の留学生活の中でとても大切な思い出です。これからもここでの交流を大切に、さらに多くの人とつながっていきたいと思います。誰でもグローバル・カフェで時間を過ごすことができます。多くの人も、ここが温かい場所だと思っていると思います。イベントに参加したり、新しい友達を作ったりするのにも、とてもおすすめです!

グローバル・カフェのワークショップやイベントの情報は公式 SNS で公開しています



国際寮への入居、外国人留学生寮でのレジデンスチューター

本学の寮で外国人留学生と一緒に生活してみませんか。留学するには不安がいっぱい、でも、留学前に生活スタイルや食生活の違い、ことばの壁を体験しておけば、留学先での生活に対する不安が和らぐかもしれません。また、留学せずに異文化体験をする絶好のチャンスです。入居者要件や募集、寄宿料などは国際課で確認してください。

問合せ 国際課(087-832-1194 / ryugaku-h@kagawa-u.ac.jp)

海外留学情報リンク集

① 海外留学支援サイト

独立行政法人日本学生支援機構が運営する海外留学を考える方への情報サイトです。

ホームページ <https://ryugaku.jasso.go.jp/>



② 官民協働海外留学支援制度

「トビタテ! 留学 JAPAN 新・日本代表プログラム」

派遣留学生自らが立案する留学計画を官民協働で支援するプログラムです。

ホームページ <https://tobitate-mext.jasso.go.jp/newprogram/uv/>



③ 各国留学情報サイト

米国 | EducationUSA Tokyo (米国大使館と日米教育委員会による留学情報サイト)

ホームページ <https://tobitate-mext.jasso.go.jp/newprogram/uv/>

カナダ | Educanada (カナダでの留学を希望する学生向けのカナダ政府公式サイト)

ホームページ <https://www.educanada.ca/index.aspx?lang=eng>

英国 | STUDY UK (英国の公的機関であるBritish Councilによる留学情報サイト)

ホームページ <https://study-uk.britishcouncil.org/>

オーストラリア | STUDY AUSTRALIA (オーストラリア政府による留学情報サイト)

ホームページ <https://www.studyaustralia.gov.au/ja>

フランス | Campus France - Japon (フランス政府留學局・日本支局のサイト)

ホームページ <https://www.japon.campusfrance.org/ja>

ドイツ | DAAD 日本 (ドイツ学術交流会)

ホームページ <https://www.daad.jp/ja/>

韓国 | Study in Korea (韓国政府による留学情報サイト)

ホームページ <https://www.studyinkorea.go.kr/ja/main.do>

中国 | Study in China / 留学中国 (中国政府による留学情報サイト)

ホームページ <https://www.campuschina.org/>

香川大学との学術交流協定校一覧 (2026.1.31現在)

	大学名	主管部局	国・地域
大学間	カセサート大学	農学部	タイ王国
大学間	チェンマイ大学	農学部	タイ王国
大学間	ルイビル大学	法学部	アメリカ合衆国
大学間	サボア・モンブラン大学	創造工学部	フランス共和国
大学間	南京農業大学	農学部	中華人民共和国
大学間	ミュンヘン工科大学	創造工学部	ドイツ連邦共和国
大学間	メチュー大学	農学部	タイ王国
大学間	国立政治大学	法学部	台湾
大学間	ラインマイン応用科学大学	経済学部	ドイツ連邦共和国
大学間	コロラド州立大学	教育学部	アメリカ合衆国
大学間	上海大学	経済学部	中華人民共和国
大学間	大邱大学	経済学部	大韓民国
大学間	中国海洋大学	法学部	中華人民共和国
大学間	真理大学	経済学部	台湾
大学間	西北大学	経済学部	中華人民共和国
大学間	南ボヘミア大学	教育学部	チェコ共和国
大学間	ハンバット大学	創造工学部	大韓民国
大学間	天津農学院	農学部	中華人民共和国
大学間	フルネイ・ダルサラーム大学	医学部	ブルネイ・ダルサラーム国
大学間	チュラロンコン大学	農学部	タイ王国
大学間	シェレバングラ農科大学	農学部	バングラデシュ人民共和国
大学間	コンピエーニュ工科大学	創造工学部	フランス共和国
大学間	トリフバン大学	創造工学部	ネパール
大学間	ムルシア大学	教育学部	スペイン王国
大学間	バツタンハン大学	農学部	カンボジア王国
大学間	誠信女子大学	教育学部	大韓民国
大学間	セントピーターズバーグ大学	教育学部	アメリカ合衆国
大学間	リモージュ大学	創造工学部	フランス共和国
大学間	北京外国語大学	教育学部	中華人民共和国
大学間	浙江工商大学	農学部	中華人民共和国
大学間	カリフォルニア州立大学フラトン校	経済学部	アメリカ合衆国
大学間	バリ電子電気工学技術高等学校	創造工学部	フランス共和国
大学間	ガジヤマダ大学	農学部	インドネシア共和国
大学間	ディボネゴロ大学	農学部	インドネシア共和国
大学間	州立ロンドリーナ大学	農学部	ブラジル連邦共和国
大学間	国立嘉義大学	創造工学部	台湾
大学間	ガイゼンハイム大学	農学部	ドイツ連邦共和国
大学間	ハノイ工科大学	農学部	ベトナム社会主義共和国
大学間	アサンブション大学	農学部	タイ王国
大学間	ハルムスタッド大学	創造工学部	スウェーデン王国
大学間	聖公会大主教	経済学部	大韓民国
大学間	東西大学校	経済学部	大韓民国
大学間	シラバコーン大学	農学部	タイ王国
大学間	エッカード大学	教育学部	アメリカ合衆国
大学間	中国文化大学	法学部	台湾
大学間	台湾中央気象署	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	台湾
大学間	中東工科大学	農学部	トルコ共和国
大学間	カリフォルニア大学デービス校カリフォルニア大学理事会	農学部	アメリカ合衆国
大学間	河北医科大学	医学部	中華人民共和国
大学間	ノッティンガム大学	農学部	英国
大学間	カンボジア健康科学大学	医学部	カンボジア王国
大学間	ボトラ・マレーシア大学	医学部	マレーシア

	大学名	主管部局	国・地域
大学間	ヤンゴン第一医科大学	医学部	ミャンマー連邦共和国
大学間	ブラウンホーファー研究機構応用情報技術研究所	創造工学部	ドイツ連邦共和国
大学間	ブータン王立医科大学	医学部	ブータン王国
大学間	スマラン国立大学	経済学部	インドネシア共和国
大学間	国立屏東大学	経済学部	台湾
大学間	マヒンドラ大学	インターナショナルオフィス	インド共和国
大学間	インド工科大学マンディ校	インターナショナルオフィス	インド共和国
大学間	建国大学校	経済学部	大韓民国
部局間	清州大学校人文学部	教育学部	大韓民国
部局間	クライストチャーチ工科大学	教育学部	ニュージーランド
部局間	江西師範大学外国語学院	教育学部	中華人民共和国
部局間	カウハチ大学地理学科	教育学部	インド共和国
部局間	インド工科大学グワハチ校	教育学部	インド共和国
部局間	ノースイースタンヒル大学地理学科	教育学部	インド共和国
部局間	フライブルグ教育大学	教育学部	ドイツ連邦共和国
部局間	上海社会科学院法学研究所	法学部	中華人民共和国
部局間	華東政法法律大学	法学部	中華人民共和国
部局間	華僑大学数量経済と統計研究院	経済学部	中華人民共和国
部局間	カルガリー大学医学部	医学部	カナダ
部局間	中国医科大学	医学部	中華人民共和国
部局間	ブルネイ・ダルサラーム国保健省	医学部	ブルネイ・ダルサラーム国
部局間	カリフォルニア大学マーセド校自然科学部	医学部	アメリカ合衆国
部局間	ニューカッスル大学医学部	医学部	英国
部局間	グラスゴー大学医学部	医学部	英国
部局間	タマサート大学・チュラポーン国際医学部	医学部	タイ王国
部局間	ボン＝ライン＝ズイク大学	創造工学部	ドイツ連邦共和国
部局間	トレド大学	創造工学部	アメリカ合衆国
部局間	漢陽大学工学部及びブレイン・コリア21機械工学科	創造工学部	大韓民国
部局間	北京師範大学化学学院	創造工学部	中華人民共和国
部局間	アルピ鉱山大学	創造工学部	フランス共和国
部局間	宝鶏文理学院化学化工学院	創造工学部	中華人民共和国
部局間	陝西科技大学材料科学工程学院	創造工学部	中華人民共和国
部局間	キャンベラ大学	創造工学部	オーストラリア連邦
部局間	アレス鉱山大学	創造工学部	フランス共和国
部局間	キングモンクット工科大学トンブリ校産業教育工学部	創造工学部	タイ王国
部局間	ダッカ大学生物科学部	農学部	バングラデシュ人民共和国
部局間	ミシガン州立大学農学・自然資源学部	農学部	アメリカ合衆国
部局間	IPB 大学農学部及び大学院研究科	農学部	インドネシア共和国
部局間	国立農業・食料・環境高等教育機関農業研究所	農学部	フランス共和国
部局間	ホーチミン市工科大学化学工学部	農学部	ベトナム社会主義共和国
部局間	トリノ大学農林・食品科学部	農学部	イタリア共和国
部局間	吉林農業科技学院	農学部	中華人民共和国
部局間	ルブナ大学農学部	農学部	スリランカ民主社会主義共和国
部局間	タマサート大学科学技術学部	農学部	タイ王国
部局間	国立中正大学地球・環境科学部	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	台湾
部局間	バンドン工科大学地球科学技術学部	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	インドネシア共和国
部局間	ペルー国家防災庁	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	ペルー共和国
部局間	西オーストラリア大学英語教育センター	インターナショナルオフィス	オーストラリア連邦